

地域懇談会における意見対応方針

資料 2 - 3

No	地域(方部)	意見内容	対応
1	県北	放射線問題で活用できなくなった「里山」について、今後、どう生かしていくかが、県北も県全体も問われてくると思う。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
2	県北	県産農産物の安全性について、安心と感じるかどうかは人それぞれ。理解されていない現実がある。	【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 施策③ ●2 「～農産物等の安全・安心の確保に関する取組を効果的に発信し、理解の促進を図るとともに～」
3	県北	国や県の事業(就業支援事業等)は、単年度予算のためか、1年単位で継続性がない。3年程度は寄り添わないと、若者(の就労支援)は一人立ち出来ない。1年で職を失い、また別の新しい仕事となり、将来が見通せないのが現状。柱の「活力」は、人が仕事を持って活力ある地域とすること。震災後、痛切に感じる。	【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 課題① ○3 「○ 県内外において避難生活を余儀なくされている方々の居住環境の向上や生活再建への支援、～」 施策③ ●4 「～高次都市機能を生かし、企業誘致とともに再生可能エネルギー分野など新たな需要が期待できる産業を集積し、雇用の創出を図ります。」

No	地域(方部)	意見内容	対応
4	県北	県北地域は浜通りにも近く、通える位置でもある。帰還できるまで生活基盤を県北に整えるという形での二地域居住もあるのではないか。	<p>【参考意見として承ります】 帰還に至るまでの生活拠点の考え方については、被災市町村における「町外コミュニティ」等の検討状況に応じて対応を進めることとなりますが、浜通りから県北地域に避難を余儀なくされた方々の生活への支援については、次のとおり取り組むこととしておりますので、御意見として承ります。</p> <p>施策① ●4、●5 「● 県内外において避難生活を余儀なくされている方々の生活再建や健康の保持・増進を図るとともに～」 ● 復興公営住宅の整備等により住環境の向上を図るとともに～」</p> <p>施策④ ●3 「● ～また、国道114号、115号、459号、県道原町川俣線など、県北地域と浜通りを結び、復興を支援する東西連携道路の整備を進めるとともに～」</p>
5	県北	日本有機農業学会の各先生が現地調査しており、膨大な研究成果がある。それを県内全体で共有する仕組みが必要。 米の全袋検査など、福島県産が東日本では一番安全であると、そろそろ反転攻勢をかけてもよいと思う。我々はこうした体制で徹底的にやっているとの逆の宣伝をかけてはどうか。	<p>【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。</p> <p>施策③ ●2 「● 農産物等の安全・安心の確保に関する取組を効果的に発信し、理解の促進を図るとともに、放射性物質の除去・低減化に係る研究や技術開発を支援し、得られた知見を共有しながら、生産者の意欲を維持する取組を進めます。」</p>
6	県北	放射線を逆手にとって、廃棄物等を封じ込める機械・装置など、本気で研究し、それを外に打っていくことも考えられる。	<p>【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。</p> <p>施策③ ●2 「～放射性物質の除去・低減化に係る研究や技術開発を支援し、得られた知見を共有しながら、生産者の意欲を維持する取組を進めます。」</p>
7	県北	放射線問題で活用できなくなった「里山」について、今後、どう生かしていくかが、県北も県全体も問われてくると思う。	<p>【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。</p>
8	県北	農産物等のモニタリングでNDでも、心配している人もいることは事実。	<p>【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。</p> <p>施策③ ●2 「～農産物等の安全・安心の確保に関する取組を効果的に発信し、理解の促進を図るとともに～」</p>

No	地域(方部)	意見内容	対応
9	県北	県道原町・川俣線が混雑しており、事故が増加している。改善をお願いする。	【参考意見として承ります】 施策④の記述を踏まえ、整備促進に努めてまいります。
10	県中	大学受験生が安心して本県へ来られるよう、就業先の情報や奨学金の拡充など、体制づくりが急務。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
11	県中	被災の事実や対応を全面に出した情報発信が必要。本県が被災しているという事実が風化していく。	【参考意見として承ります】 第3章 安全と安心(6)大規模災害対策・危機管理体制 において、以下のとおり取組の方向性を設定しております。 ④ 震災教訓の継承・風化防止を図ります。(p162)
12	県中	医療・福祉系の「人の教育」の視点を、計画に付加してほしい。学生や家庭へのサポートがあって、始めて医療体制が充実してくる。	【ご意見を反映させていただきます】 ご意見の趣旨は、第3章 安全と安心(2)医療及び(3)介護・福祉 において、以下のとおり施策として反映されていると考えられます。 ・ 医師確保、医師の県内への定着に関する取組(p136) 医学生に対する修学資金の貸与、医師の県外からの招聘などにより、県内の医師数の増加を図ります。また、福島県地域医療支援センターにおいて、医師、医学生に対する相談、キャリア形成の取組などを行い、県内への医師定着を促進します。 ・ 介護人材の育成・確保・処遇改善に関する取組(p142) 介護人材の育成・確保を図るとともに、介護職員の処遇改善を促進します。
13	県中	高齢者が、最後に亡くなる場所をどこにしていけるのか(在宅・施設)という方針を、計画に盛り込んでほしい。	【ご意見を反映させていただきます】 ご意見の趣旨は、第3章 安全と安心(3)介護・福祉 において、以下のとおり施策として反映されていると考えられます。 ・ 介護サービス基盤の整備に関する取組(p142) 高齢者やその家族のニーズを的確に把握し、これに応じた、介護サービス基盤の整備を進めます。特に、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう、地域密着型サービスの普及を促進します。 ・ 介護保険サービスの提供体制の整備に関する取組(p142) 地域包括ケア体制の整備を進めるとともに、医療と介護の連携強化により高齢者の在宅療養環境の充実を図ります。また、居宅サービスの充実を図ります。さらに、介護保険外の福祉サービスの提供を促進します。

No	地域(方部)	意見内容	対応
14	県中	仮設住宅退去後の不安解消のため、復興住宅を始めとした生活の道すじを示す具体的な記述を求めたい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。 また、復興計画の見直しの中で検討させていただきます。
15	県中	「安全」は証明できるが、「安心」の証明は難しい。給食に県産食材を用いるなど、安心の証明を地元からつくるべき。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 活力(1)農林水産業 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・ 地産地消に関する取組(p91) 市町村、事業者などとの連携により、県産農林水産物の理解促進を図る取組を推進し、地産地消を進めます。
16	県中	食の「安全・安心」を確保する施策として、「食品添加物」「残留農薬」「放射線」に加えて「種の保全」を。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
17	県中	子どもが年相応の運動や遊び、学校では学べない体験が少しでもできるような環境づくりをお願いしたい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
18	県中	計画には、東西軸の高規格道路を整備するという踏み込んだ記載がほしい。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 活力(6)交流基盤・物流基盤 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・ 幹線道路の整備に関する取組(p124) 国道4号、国道6号、国道13号、国道49号、国道115号などの幹線道路の整備を促進し、県土の連携軸を強化します。 ・ 地域連携道路の整備に関する取組(p124) 国道114号、288号、399号、県道原町川俣線、小野富岡線など、浜通り地方と中通り地方をつなぐ東西連携道路などの整備を推進します。また、会津地方の中山間地域などにおける、災害に強く信頼性の高い道路網の構築や、避難が解除された地域の生活を支える道路網の整備を推進します。
19	県中	復興のため、農地転用手続きを簡略化するなど弾力的な運用ができるような制度を。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
20	県中	地元の歴史や伝統文化を継承できるよう、お年寄りが伝承者等として活躍できるような場をつくってほしい。	【参考意見として承ります】 施策④の記述を踏まえ、地域の人材を生かした地域づくりの推進に努めてまいります。
21	県南	県外において、県産農産物の安全性について正しく理解されていない現状がある。正しい知識を持ってもらうための取組も必要ではないか。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 活力(1)農林水産業 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・ 県産農林水産物の安全性のPR、販売促進に関する取組(p90) 様々な情報媒体を通して、県産農林水産物の安全性に関する情報を全国、世界に発信し、風評の解消を図ります。また、首都圏のアンテナショップや各種イベントなどにおいて、県産農林水産物をPRすることなどにより、販売を促進します。
22	県南	(富岡町の方を例に)ふるさとには帰れないが、県内には残りたいという方がいる。このような方々を支援していく必要がある。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(6)避難地域の再生、避難者の生活再建 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・ 【復興】避難者の生活拠点づくりに関する取組(p85) 帰還を希望する長期避難者や帰還を希望しない避難者に対して、地域コミュニティに配慮した復興公営住宅の整備を行ないます。また、自主避難者も含めて住宅の確保、避難先での就職など、生活環境整備に向けた取組を行います。
23	県南	将来にわたる子どもの健康保障など、地域の子どもの大事にする視点が足りない。放射線に関しても正しい知識を学ぶ機会を設けて欲しい。心のケアも必要。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(1)出産・子育て において、以下のとおり施策として反映されております。 ・ 【復興】子どもの健康管理調査に関する取組(p54) 甲状腺検査(県民健康管理調査)などにより、甲状腺がんなどの早期発見、早期治療を図るなど、生涯にわたり子どもの健康を見守ります。
24	県南	地産地消、特にエネルギーの地産地消が必要。エネルギーの地産地消は、原発問題、省エネルギー、地域発展の3課題を解決することに寄与できると考える。	【参考意見として承ります】 第3章 活力(3)再生可能エネルギーの指標「再生可能エネルギーの導入量」(p108)は、エネルギーの地産地消などを目的として設定された指標となっています。
25	県南	まだまだ働ける、元気な高齢者が多い。資料1「福島県総合計画改定中間整理(案)【概要版】」の第3章に「高齢者が夢や希望を持てる生きがいづくり」とあるが、生きがいに繋がっていくような高齢者の働き口がない。この実現をお願いしたい。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(3)文化・スポーツ、生きがいと活躍の場 において、以下のとおり施策として反映されております。なお、高齢者を含めた、雇用全般に関する取り組みは、活力(4)雇用・産業人材の育成において整理されております。 ・ 高齢者の就業や職業能力開発に関する取組(p67) シルバー人材センターなどと連携し、高齢者の就業や職業能力開発に取り組みます。

No	地域(方部)	意見内容	対応
26	県南	(原子力災害などが)忘れ去られることが危険。忘れ去られないようにする取組や復興の施策を出してもらいたい。	【参考意見として承ります】 第3章 安全と安心(6)大規模災害対策・危機管理体制 において、以下のとおり取組の方向性を設定しております。 ④ 震災教訓の継承・風化防止を図ります。(p162)
27	県南	外国のように一般家庭の方が希望するお年寄りを受け入れる制度は理想的。国の制度にないものを県オリジナルで取り組むことも必要なのではないか。	【参考意見として承ります】 個別・具体的な事例は、基本的に個別計画などで記載するか、計画の推進の段階で検討すべきものと考えられます。
28	県南	本県は、3つの地域(浜・中・会津)に分かれている、3つの地域それぞれの特色を出していくとよいと思う。また、3つの地域があることをキャッチコピーにするのもよいと思う。	【参考意見として承ります】
29	県南	「企業は人なり」。人材がいないと企業は進出してこない。県南には大学がない。誘致運動も必要ではないか。誘致がダメならば、県立農業短大を4年制の総合大学に拡張してはどうか。	【参考意見として承ります】 記載の是非について、今後検討させていただきます。
30	県南	地域の特徴の部分で、産業の書きぶり「半導体関連産業、輸送用機器関連産業などが集積」は、現在では形が変わってきているのではないか。修正した方が良いのでは。	【原案どおりとします】 産業の特徴は、新たな企業の立地があることを踏まえつつも、概率的に記載していることから、原案どおりとさせていただきます。
31	県南	グラフデータの統計年がない。	【原案どおりとします】 第4章193項で、統計年等について説明しております。 説明書きを各地域別に個別記載すると、読みにくい構成になるため、原案どおりとすることを御理解ください。
32	県南	課題の①で、「産業の集積」だけではダメ。その後の「定着」が大事。	【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 課題・施策の展開方向 課題①本文 「○ 県全体の復興牽引を下支えするため、さらなる企業の集積・定着が必要となります。」

No	地域(方部)	意見内容	対応
33	県南	課題の②で、「質の高い産業」とあるが、どういうものを示しているのかわからない。また、「企業の要望に応える人材」とあるが、企業の要望に応えるだけでよいのか。そのような考えだから、簡単にクビを切られているのではないのか。文章をもう少し書き込んだ方がよい。	【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 課題・施策の展開方向 課題②本文 「○ 農林業や商業の担い手不足が深刻化していることに加え、企業の要望に応えられる先進・高度技術に対応できる質の高い産業人材の育成が課題となっています。」 主要施策 施策②4番目 「● 質の高い生産活動を担うことができる産業人材を確保するため、県内の大学、テクノアカデミー、農業短期大学校等の高等教育機関や市町村、民間の産業支援組織などと連携し、産業人材養成のためのシステム強化を図りながら、実践的な技術指導などによる人材育成に努めます。」
34	県南	課題の③で、「原子力災害により」とあるが、その前からこの地域は低迷が続いている。	【参考意見として承ります】 地域別の課題は、特筆すべきものを中心に記載しております。 今回の改定では、原子力災害の影響が極めて大きいことから、原案のような表現になっていることを御理解願います。
35	県南	主要施策の②で、「職業体験」とあるが、地域にある限られた職業の体験ではなくて、地域を飛び越えた職業体験が必要。もっと文章を書き込むべき。また、「質の高い生産活動」とあるが、具体的に書いた方がよい。	【原案どおりとします】 「職業体験」の内容については、地域にある限られた職業を限定したものではありません。なお、具体的な内容については個別の事業計画等で詳細に検討されるますので、原案どおりとさせていただきます。 【修正します】 「質の高い生産活動」の表記については、誤解を生じさせやすい表現ゆえ、該当部分を削除します。
36	県南	主要施策の④で、「路線バス」の施策があるが、西郷村では循環バスができたものの、誰も乗っていない。市町村等への指導も必要ではないか。	【参考意見として承ります】 市町村が主体的に行う施策への支援につきましては、効果的な支援となるように努めてまいります。
37	県南	魅力あるまちづくりが必要と言われているが、心の面の充実が足りないのではないかと。もっと心を満たす何かがあれば、若者が定着していくのでは。心を満たすものは何かと考え、NHK交響楽団を招聘し、ミニコンサートを開催した。ほぼ満員。来場者の満足度は非常に高かった(翌年も実施)。このような取組がもっと必要なのでは。また、施設を持っていても、活用しなければ無駄使い。どうやって活用していけばいいのかを十分に検討する必要がある。	【参考意見として承ります】 御意見のような具体的な事例を参考にしつつ、県としても効果的な施策、取組を検討していきたいと考えます。

No	地域(方部)	意見内容	対応
38	県南	課題の中に「福祉」という言葉が見当たらない。高齢者が多いことも福島県の特徴と感じているので、福祉の充実に取り組んでもらいたい。	【修正します】 御意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 課題・施策の展開方向 課題④本文 「○ 安全・安心を確保するための社会基盤や医療体制の整備が不十分な状況であるとともに、福祉の充実が必要です。」
39	会津	人口流出が一番の問題。この対策を意識的に目玉事業として見せるようにしてはどうか。	【参考意見として承ります】 第5章 重点プロジェクトにおいて、人口減少・高齢化対策プロジェクトを設定するとともに(p230)、人口減少対策を計画全体の課題として位置づけております。
40	会津	経済を回復させるのに一番手っ取り早いのは企業誘致である。企業立地補助金も拡充して雇用の場を創出してもらいたい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
41	会津	子育て支援センターの充実など地域で子育てできる体制や、共働き家庭への子育て支援が必要である。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(1) 出産・子育て において、以下のとおり施策に反映されております。 ・ 地域における子育て支援に関する取組(p55) 子育てサークル、地域子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターなどによる、子育て支援活動の充実を図ります。また、高齢者の知恵や経験を生かした子育て支援を進めます。
42	会津	自分の住んでいる故郷のことを知らない子どもが多い。まずは県内の人が県内を歩き、福島をもっと好きになったり、郷土に誇りを持ってもらうために低料金の観光プランなど支援してもよいのでは。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
43	会津	コーディネーター、地域のキーマンを育てるのは大事なこと。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(4) まちづくり・地域づくり において、以下のとおり施策に反映されております。 ・ NPO法人、ボランティア活動の人材確保、人材育成に関する取組(p73) NPO法人、ボランティア活動の人材の確保とリーダー的役割を担う人材の育成に取り組みます。
44	会津	安い料金で夏休み・冬休みを利用して福島県に来られるように、家族割やシニア割を設定し、収穫体験をしてもらう等の取組をしてはどうか。他県に避難した家族が戻るチャンスにもなり得る。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
45	会津	農業の後継者に胸を張って後を継いでくれと言えるような方向性を示してもらいたい。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 活力(1)農林水産業 において、以下のとおり施策に反映されております。 ・ 就農者の育成・確保に関する取組(p91) 就農情報を発信するとともに、新規就農者の技術習得や農地確保などを地域ぐるみで支援するなど、円滑に就農・定着できる仕組みづくりを進めます。
46	会津	会津は意外と住宅物件の相場が高めである。若者が住みたいと思える住環境を整える必要もある。(ルームシェアや安い物件)	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
47	会津	山都町ではIターン者が多い。コミュニティがしっかり働いているからだと思う。定住するためにはコミュニティが大切である。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
48	会津	観光地のコンシェルジュ、コーディネーターが少ないので、リーダー養成講座などの施策をお願いしたい。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 活力(5)観光・交流 において、以下のとおり施策に反映されております。 ・ 着地型観光に関する取組(p118) 着地型観光を推進するとともに、事業を展開するための旅行商品の開発、人材育成などを行います。
49	会津	奥会津の町村は、只見線全線開通を強く要望している。	【参考意見として承ります】 施策③で記載のとおり、只見線の早期復旧を働きかけてまいります。
50	南会津	南会津病院の精神科を充実させるため、一度引退した先生を呼ぶという方法もある。「田舎に住んでもいい」という考えの人もそれなりにいると聞く。	【ご意見を反映させていただきます】 ご意見の趣旨は、第3章 安全と安心(2)医療 において、以下のとおり施策として反映されていると考えられます。 ・ 医師確保、医師の県内への定着に関する取組(p136) 医学生に対する修学資金の貸与、医師の県外からの招聘などにより、県内の医師数の増加を図ります。また、福島県地域医療支援センターにおいて、医師、医学生に対する相談、キャリア形成の取組などを行い、県内への医師定着を促進します。 また、定住・二地域居住など、件の各施策との連携を進めていくことが必要である、と考えております。

No	地域(方部)	意見内容	対応
51	南会津	只見町ではユネスコエコパーク登録を目指している。南会津は、自然をキーワードに価値付けしブランド化する必要がある。	【参考意見として承ります】 只見町におけるユネスコエコパーク登録に向けた取組等を支援するなど、施策②に記載のとおり、豊かな自然環境などの地域資源を活用した観光・交流人口の拡大を図ります。
52	南会津	地域が誇りと自信を取り戻すため、国の研究機関の誘致など教育・学術の振興により南会津の価値を洗い出すことが肝心。	【参考意見として承ります】 施策②、④を進める上で、御意見を参考にします。
53	南会津	過疎振興には、よそ者が入らないと立ちいかない。いかに取り込んでいくか。	【参考意見として承ります】 施策②に記載のとおり、地域の情報発信や受入体制の整備などに取り組み、定住・二地域居住を推進することにより、地域の活性化を進めます。
54	南会津	西部地区の救急医療体制を構築しなければならない。会津若松への搬送は緊急を要する症状の場合に時間がかかりすぎる。	【参考意見として承ります】 施策③に記載のとおり、関係機関等と連携して地域完結型医療への転換を図る中で、救命救急センターの救急受入体制の強化を進めます。
55	南会津	町営の2つのスキー場が廃止の方向との答申が出たが、冬期間の就労等への影響があるため、存続させてほしい。	【参考意見として承ります】 報道は町の第三セクター経営評価委員会の答申についてのものであり、今後町の方で対応を検討していくこととなります。
56	南会津	国有林の伐採ができなくなったことによる原材料の不足により木工業が廃れることが起きている。伝統産業を存続させたい。	【参考意見として承ります】 伝統産業である木工業は、地域の文化でもあり、廃れることのないよう原材料の供給のあり方を検討するなど、存続に向けた取組に努めてまいります。
57	南会津	授業に歌舞伎を取り入れるなど、地域の人が学校教育の段階から地域の良さを知ることが大事。	【参考意見として承ります】 施策④に記載のとおり、総合的な学習の時間を活用するなどして、伝統芸能の継承に努めてまいります。
58	南会津	南会津は農業が中心になるが、南郷トマトのように生活できる(所得がある)産物が重要。どのように拡大していくか。	【参考意見として承ります】 施策①により、地域の特性を生かした産業の振興を図ることとしています。南郷トマトの成功事例を良い手本として、他の作物についても生計が維持できる農業の実現に努めてまいります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
59	南会津	多客期に会津鉄道、野岩鉄道に急行列車などを走らせ短時間化を図ることにより、観光客を呼び込むことができる。	【参考意見として承ります】 施策②を進める上で、急行列車等の運行について検討を依頼するなど、御意見について参考にします。
60	南会津	大内宿が有名になったのは、技術やしきたりの継承ができているから。伝統の継承も重要。	【参考意見として承ります】 施策④に記載のとおり、伝統文化等の継承に努めてまいります。
61	南会津	クラインガルテンの利用者について、後々の二地域居住や定住につなげる展開も必要。	【参考意見として承ります】 施策②を進める上で、御意見を参考にします。
62	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	国道115号や常磐自動車道などの道路の復旧が必要。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 活力(6)交流基盤・物流基盤 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・ 常磐自動車道の整備に関する取組(p124) 常磐自動車道の整備を促進し、東北圏と首都圏の輸送ルートなどの多重化を図ります。 ・ 地域連携道路の整備に関する取組(p124) 国道114号、288号、399号、県道原町川俣線、小野富岡線など、浜通り地方と中通り地方をつなぐ東西連携道路などの整備を推進します。また、会津地方の中山間地域などにおける、災害に強く信頼性の高い道路網の構築や、避難が解除された地域の生活を支える道路網の整備を推進します。
63	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	常磐線が使えないことで仙台方面へ通っていた人の不便さは図りしれない。また、福島への道路も整備されていない。こういうことから人口減少が生じる。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
64	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	がれきの撤去や仮置場について見通しが立っていないので、県も入ってスピーディーな対応をお願いします。	【参考意見として承ります】 早期に仮置場を確保し、迅速な除染を進めるため、第3章 安全と安心(5)原子力災害対策 において、以下のとおり記載し、各種の施策に取り組みます。 ・ 【復興】迅速な除染の推進体制の強化に関する取組 除染の人材育成、効果的・効率的な技術の普及、除染や仮置場に関する住民理解の促進などを行います。

No	地域(方部)	意見内容	対応
65	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	大柵ダムは水質には問題ないが、山林に囲まれ線量が高い。国に除染の依頼をし、調査、整備を進めるべき。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
66	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	風評被害は深刻で、農地が復旧して米を作っても売れるのか。米に代わるものの方向性を県で示すべき(燃料用の作物を作るなど)。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(6)避難地域の再生、避難者の生活再建 において、以下のとおり施策として反映されております。コメの代替等については、計画推進上の課題として、意見を承ります。 ・【復興】農林水産業の再生に関する取組(p84) 農林地などの除染を推進するとともに、詳細な緊急時環境放射線モニタリングを継続的に実施します。また、農地、林地、漁場、農林水産業関連施設の復旧など生産基盤の整備を進めるとともに、農林水産物の継続的な検査体制の確立を図ります。
67	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	南相馬内だけでなく、地域を跨いで各業界団体の話し合いを実施すべきであり、県にその場を設けて欲しい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
68	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	阪神・淡路大震災では数年後に子どもの犯罪が増えたとも聞いている。今は何でもなくとも長い目でのカウンセリングが必要。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(1)出産・子育て において、以下のとおり施策として反映されております。 ・【復興】子どもの心のケアに関する取組(p55) 様々なストレスを受けた子どもたちや保護者などに対する相談・支援体制を強化し、ストレスの軽減を図ります。
69	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	原発は廃炉までの間に大きな地震が来たときに耐えられるかどうか不明であり、信頼される情報の伝達や道路の整備等の備えをしておかなければならない。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 安全と安心(5)原子力災害対策 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・【復興】緊急事態が再発した場合に対する備えに関する取組(p154) 原子力発電所の安全確保を徹底するよう国に求めるとともに、緊急事態に対する備えを万全とします。
70	相双(相馬・南相馬・新地・飯館)	介護の現場で働く若い人を受け入れるための環境づくりの支援をお願いしたい。	【参考意見として承ります】 御意見の視点は施策②において反映しており、今後、具体的な取組に努めてまいります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
71	相双 (相馬・南相馬・新地・飯館)	県道原町・川俣線が混雑しており、事故が増加している。改善をお願いする。	【参考意見として承ります】 施策③の記述を踏まえ、整備促進に努めてまいります。
72	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	放射能被害についてしっかりと認識されていない。放射能に対するリスクコミュニケーションが今後の課題である。	【ご意見を反映させていただきます】 ご意見の趣旨は、第3章 安全と安心(4)日常生活の安全と安心 において、以下のとおり施策として反映されていると考えられます。 ・【復興】放射性物質検査体制の整備などに関する取組(p149) 食品の安全・安心を確保するため、住民の身近な公共施設などに放射能簡易分析装置を整備し、検査を行います。また、放射線と食品の安全性に関するリスクコミュニケーションを行います。 また、除染や仮置場についても、第3章 安全と安心(5)原子力災害対策 において、以下のとおり施策として記載し、リスクコミュニケーションの推進に取り組めます。 ・【復興】迅速な除染の推進体制の強化に関する取組 除染の人材育成、効果的・効率的な技術の普及、除染や仮置場に関する住民理解の促進などを行います。
73	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	雇用・住宅政策だけでなく、地域に戻って人生設計ができるような仕掛けづくりが課題である。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 活力(4)雇用・産業人材の育成 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・首都圏からのFターンに関する取組(p113) 首都圏などに設置する就職支援窓口において、個別カウンセリングや就職情報の紹介を行い、首都圏からのFターンなどを促進します。
74	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	福島が再生しているというアピールがもっとあっていい。プラスのイメージがないと子どもたちがかわいそう。機関を誘致するもの良いし、世界に向けて隠すのではなく発信する福島でなければならない。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
75	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	企業誘致については、一つの企業に何億もかけるより、地元の人が細く長く生きていけるような予算の使い方が必要。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
76	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	避難中に亡くなった人が多くいた。一斉に避難させるに当たっては、他県からの応援が必要であったのではないかと。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 安全と安心(6)大規模災害対策・危機管理体制 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・【復興】自治体間・地域間の連携強化や相互応援に関する取組(p162) 大規模災害に備え、広域的な相互応援体制、及び市町村への支援体制の構築を検討します。また、民間団体との災害時応援協定の締結を推進します。
77	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	被災した子どもたちの心のケアのために、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの配置を進めて欲しい。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(2)教育 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・豊かな心の育成に関する取組 ・・・子どもたちの心のケアなどの対応のためスクールカウンセラーを配置するなど、教育相談体制の充実を図ります。
78	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	常磐自動車道、国道6号線などの道路整備を早急に行なって欲しい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
79	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	仮の町については、県が国と市町村の間に立って、もっと積極的に取り組むべきである。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
80	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	復旧・復興に向けて必要なのは除染である。地元の農産物を自分で食べて、販売することが目安。地元の企業、住民が一緒になって除染を行うことが地域の復旧・復興につながる。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
81	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	除染と一緒にインフラ整備を行うことが早期帰還につながる。	<p>【ご意見を反映させていただきます】</p> <p>第3章 人と地域(6) 避難地域の再生、避難者の生活再建 において、以下のとおり施策として反映されております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【復興】被災施設などの復旧・改良に関する取組(p85) ・【復興】上下水道の機能回復に関する取組(p85) ・【復興】公共施設などの機能回復に関する取組(p86) <p>また、避難地域については、除染特別地域として国が直轄で除染を行っており、第3章 安全と安心(5) 原子力災害対策 において、以下のとおり記載しています。県としては、地域の実情を踏まえ、避難地域市町村の意向に沿った除染が進められるよう、ニーズの把握に努めているところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【復興】除染特別地域の除染に関する取組 <p>除染特別地域では、国が主体となって、追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト以下となることを目指し、住宅・道路・学校施設・公園・農地・森林などの除染を行います。</p>
82	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	人口減少を食い止めるためには、結婚を支援する仕組みづくりが必要。	<p>【ご意見を反映させていただきます】</p> <p>第3章 人と地域(1) 出産・子育て において、以下のとおり取組の方向性として反映されております。</p> <p>③ 結婚を支援していく仕組みづくりを進めます。(p56)</p>
83	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	原発について、再稼働や新たな建設の動きがあるが、我々の現状を全国に発信し、廃止に向けた声を上げなければならない。	【参考意見として承ります】
84	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	企業立地の推進に力を入れて欲しい。働くところがないと、若い人は戻らない。	<p>【ご意見を反映させていただきます】</p> <p>第3章 活力(2) 商工業・サービス業 において、以下のとおり施策として反映されております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業立地に関する取組(p98) <p>輸送用機械関連産業、医療関連産業など、経済波及効果が大きい産業分野の企業立地を推進します。</p>

No	地域(方部)	意見内容	対応
85	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	帰村するに当たっては、プラントの不安定さが問題であり、万一何かあった時にはそれぞれの市町村に直接連絡することとして欲しい。また、県は避難先を決めておくべき。	<p>【参考意見として承ります】</p> <p>○プラントの安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原発については、応急的な冷却システム等により、損傷した核燃料をコントロールしておりますが、廃炉完了までには30年から40年の長期に及ぶことから、原子力規制委員会は、原子炉等規制法に基づき特別な監視を行うことにより、安全を確保するとしています。 ・県では、国や東京電力の取組状況について、定期的に説明を求め、これまでに10回以上の現地調査を行うなどにより確認を行ってきておりますが、これを一層充実させるため、専門家も交えた本県独自の新たな監視体制を強化することとしております。 <p>○市町村への直接連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県では、平成24年7月25日付けで東京電力との間で通報連絡の見直しを行い、住民避難等の被害が生じた発電所周辺13市町村を対象として、原子力発電所で発生したトラブルや異常事象を、直接各発電所から連絡を行う運用を開始しております。 ・また、今回の事故対応を教訓として、専用FAXや衛星携帯電話の整備など連絡体制の強化にも取り組んでおります。 <p>○避難先について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、県では、県全域の避難所及び輸送車両の状況の調査を進めており、市町村が把握する人口状況等を踏まえて、避難計画を策定することとしています。
86	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	家族の負担を軽減するためにも、ショートステイを気軽に利用できるようにしていく必要がある。	<p>【参考意見として承ります】</p> <p>計画推進上の課題として、意見を承ります。</p>
87	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	エネルギー政策については、洋上風力、太陽光発電、木質バイオマスの外、水力や小水力を盛り込んで欲しい。	<p>【修正します】</p> <p>次のとおり修正します。</p> <p>「…洋上風力発電の早期事業化、太陽光発電、<u>小水力発電</u>やバイオマスのエネルギー利用を推進するとともに、…」</p>
88	相双(川内・双葉・浪江・葛尾)	農林水産物は作るだけでなく、出口(流通)はどうするのか戦略的に考える必要がある	<p>【参考意見として承ります】</p> <p>御意見を踏まえつつ、関係機関等と連携して施策の展開を図っていきたいと考えます。</p>

No	地域(方部)	意見内容	対応
89	相双 (川内・双葉・浪江・葛尾)	郷土芸能を保存していきたいので、支援をお願いしたい。	【参考意見として承ります】 施策⑥に、「・・・長年地域に根付いてきた貴重な伝統文化を継承する・・・」と記載しており、今後、具体的な取組に努めてまいります。
90	相双 (川内・双葉・浪江・葛尾)	過疎対策については、これから農業をやりたい人のために土地の提供をお願いしたい。	【修正します】 次のとおり修正します。 「また、地域産業の6次化や企業誘致による地域産業の活性化を図るとともに、新規就農者の農地確保を支援する仕組みづくりを進めるなど、過疎・中山間地域の再生に取り組めます。」
91	相双(広野・楡葉・富岡・大熊)	郷土愛を喚起し、ふるさとを忘れさせない教育をくどいくらいやる必要がある。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
92	相双(広野・楡葉・富岡・大熊)	JFAアカデミーふくしまを、広野町、楡葉町でなくてよいので県内に移して欲しい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
93	相双(広野・楡葉・富岡・大熊)	(復興は)長期戦になるのは間違いないので、教育には力を入れてもらいたい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
94	相双(広野・楡葉・富岡・大熊)	双葉郡の福祉法人や医療法人を仮の町で再開してもらって支援をする考え方もあるのではないか。	【ご意見を反映させていただきます】 ご意見の趣旨は、第3章 人と地域(6)避難地域の再生、避難者の生活再建 において、以下のとおり施策として反映されていると考えられます。 ・【復興】避難者に対する情報提供などに関する取組(p85) 避難者(自主避難者含む)に対して、本県の現状や市町村の復興に向けた動きなどについての情報提供とともに、地域コミュニティの維持に配慮しつつ、行政や生活などに関する情報提供、さらに交流の確保を行ないます。また、原子力損害の賠償が十分に行なわれるよう取り組みます。

No	地域(方部)	意見内容	対応
95	相双(広野・榑葉・富岡・大熊)	学校教育の中で、地元で働けるような資格を取らせる発想があってもよいのではないか。	【ご意見を反映させていただきます】 ご意見の趣旨は、第3章 人と地域(2)教育 において、以下のとおり施策として反映されていると考えられます。 ・ キャリア教育に関する取組(p60) 地域や企業、商店、農林漁業者などとの連携による職場体験活動やインターンシップの実施など、小中高を通じたキャリア教育を推進することにより、働く意味や尊さを考えさせ、発達段階に応じた勤労観・職業観の醸成・育成を図ります。
96	相双(広野・榑葉・富岡・大熊)	相双保健福祉事務所の業務をいわきで代行できるようにならないか。(飲食業等の許認可窓口の拡充関係)	【参考意見として承ります】 食品営業許可申請のうち、申請件数が多い継続許可申請につきましては、広野町及び川内村におきましても、出張しての対応を図っております。 新規許可申請につきましては、御意見を踏まえつつ、避難指示区域の見直し、住民の帰還、道路の状況等、今後の推移を見ながら、定期的な窓口開設や職員配置等について引き続き検討してまいります。
97	相双(広野・榑葉・富岡・大熊)	相双といわき間のインフラ(道路)整備を早くして欲しい。	【参考意見として承ります】 両地域の施策で、国道6号線やJR常磐線の復旧について記載しており、今後とも強く推進してまいります。 また、常磐道については、国で警戒区域内の施工を迅速に行う旨が表明されております。
98	相双(広野・榑葉・富岡・大熊)	震災後、避難に時間がかかったので、今後の安心のため交通網の整備をお願いしたい。	【参考意見として承ります】 全ての地域の施策で、東西連携道路等の整備促進を掲げており、県の重要な施策として推進してまいります。
99	相双(広野・榑葉・富岡・大熊)	復旧は全て元に戻そうという発想ではなく、再構築させる考え方が必要(例えば、小学校の再開に当たって、2つを1つに統合するなど)。	【参考意見として承ります】 御意見を踏まえつつ、地域の状況に応じた効果的な復旧を検討していきたいと考えます。
100	相双(広野・榑葉・富岡・大熊)	介護施設は病人が出た場合に医師との連携が必須であるが、今まで通り連携がとれるのか。	【参考意見として承ります】 御意見の視点は施策②において反映しており、今後、具体的な取組に努めてまいります。
101	相双(広野・榑葉・富岡・大熊)	従来のコミュニティを大事にしなければならない。 元の町の人々とのつながりを大事にしている。元の町の人という雰囲気なくなってくるのが心配。	【参考意見として承ります】 御意見の視点は施策①⑥において反映しており、今後、具体的な取組に努めてまいります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
102	相双 (広野・檜葉・富岡・大熊)	震災前から双葉郡の医療職、福祉職の人材は不足していた。今後の確保が困難。また、浜通りの医療職、福祉職の復帰率が低いので、いかに現場復帰させるか。	【参考意見として承ります】 御意見は施策②において記載しており、今後、具体的な取組に努めてまいります。
103	いわき	今後子どもたちを始め、県民のメディカルチェックをどう進めるかは大きな問題。	【参考意見として承ります】 第3章 安全と安心(1)健康づくり・健康管理 において、以下のとおり取組の方向性を設定しております。 ③ 東日本大震災・原子力災害の影響を踏まえた健康管理を進めます。(p131)
104	いわき	農産物のモニタリング検査は大事で、可視化は重要なことである。一方で処理できる能力には限界があり、1日で900袋くらいしかできないと聞いている。効率的な方法、体制を整備する必要がある。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
105	いわき	農業の25年～30年を見据えると、集団化というのは避けて通れない話。しかし、機械の購入にはこの足を踏んでしまうのが実態。リースなどへの支援、補助を検討してもらいたい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
106	いわき	これから計画をつくっていくにあたっては、生まれてから亡くなるまでのライフステージで施策を考えていく必要があると思う。子どもからお年寄りまで、そのステージに応じた施策が必要。特に、保健・医療・福祉については、トータルシステムで考える必要がある。それに加えて、土木、農業、産業を計画の中に位置づけるというようなまとめ方はできないものか。	【参考意見として承ります】
107	いわき	用語解説については、取って付けた感がある。横文字の用語や災害用語など、もっと書き込んでもいいのではないか。	【参考意見として承ります】
108	いわき	観光については、福島県の浜、中、会津で横断的に取り組む必要がある。観光のネタはいろいろある。	【参考意見として承ります】
109	いわき	賠償もいつまで続くかわからない。これからは、付加価値の向上や衛生管理をしっかりとすることで売り込む必要がある。漁業者が不利益を被らないような支援の仕組みが欲しい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
110	いわき	災害初期と今では必要な対応が異なるところも出てきている。臨機応変な対応をして欲しい。	【参考意見として承ります】 総合計画は8年間の計画となっていますが、震災からの復興に特化した復興計画は、柔軟に見直しが行われる予定となっています。
111	いわき	どんなに数字で安全を示されても、安心できていないのが現状。いかにして安心を与えていくかが重要。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
112	いわき	(まちづくりにあたって)新しい組織体というのが求められていると感じている。そのための音頭を取るのは行政(県や市)ではないかと感じている。まちづくり会社の設立など責任を持てる組織の育成が必要であり、パートナーシップを構築していくことが大事。そういったことを総合計画の中にも盛り込んでもらいたい。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
113	いわき	どこにどのような社会資源があるのかという情報、データを整理する必要がある。ハンディキャップを持った人、元気のある人、時間に余裕がある人など向けに整理して、基礎データの窓口を一本化する必要がある。	【参考意見として承ります】 計画推進上の課題として、意見を承ります。
114	いわき	避難者との問題については、コミュニティをどう構築するかが課題。地元とうまくコミュニケーションを取っていく必要がある。賠償の相違などで対立が生じないように。いわき市の大きな課題であるが、県全体としても取り組んでく必要がある。	【ご意見を反映させていただきます】 第3章 人と地域(6) 避難地域の再生、避難者の生活再建 において、以下のとおり施策として反映されております。 ・【復興】避難者に対する情報提供などに関する取組(p85) 避難者(自主避難者含む)に対して、本県の現状や市町村の復興に向けた動きなどについての情報提供とともに、地域コミュニティの維持に配慮しつつ、行政や生活などに関する情報提供、さらに交流の確保を行ないます。また、原子力損害の賠償が十分に行なわれるよう取り組みます。
115	いわき	医師不足の問題があるなかで、安全・安心を確立していくためには医療を充実させていく必要がある。	【修正します】 医療の充実については、施策①に記載しておりますが、放射線に対する健康不安への長期的な対応についても御意見もいただいたことから、次のとおり修正しました。 「～放射線に関するリスクコミュニケーションなどにより不安の解消に取り組むとともに、健康診査などによって疾病の早期発見・早期治療を図るなど、長期にわたり健康を見守ります。」
116	いわき	実害もあるが、風評被害があり、安全・安心の担保が必要と感じている。払拭するためにもいわきの実情を発信していくこと、また、いわきに来てもらうという視点が大事。	【参考意見として承ります】 御意見の視点は、施策②③において包括した記載としており、関連施策を推進してまいります。

No	地域(方部)	意見内容	対応
117	いわき	今、海には実害があるが、それに変わる形での海の活用(洋上風力発電等)によって産業振興や地域の活性化に結びつけて欲しい。	【参考意見として承ります】 御意見のあった視点のうち、洋上風力発電につきましては、施策②において、取組の方向性を記述しております。なお、引き続き、御意見を踏まえつつ、効果的な施策の展開になるよう努めてまいります。
118	いわき	長期的なことも大事であるが、即効性のあるものも打ち出してもらいたい。例えば、交流、観光。	【参考意見として承ります】 御意見の視点は、施策③において包括した記載としており、関連施策を推進してまいります。
119	いわき	短期間で導入できる再エネはないかということで、今、考えているのは、液化天然ガス(LNG)を活用した火力発電所。(今の石炭による火力発電設備に)少し設備を加えるだけで対応でき、安価に発電できると聞いている。これにより、双葉から避難されている方々の雇用創出にもつなげられればと考えている。	【参考意見として承ります】 御意見のような具体的な事例を参考にしつつ、県としても効果的な施策、取組を検討していきたいと考えます。
120	いわき	観光については、いろいろな分野とのタイアップが必要と感じている	【参考意見として承ります】 御意見を踏まえつつ、産業の6次化等、県としても効果的な施策、取組を検討していきたいと考えます。
121	いわき	相双保健福祉事務所の業務をいわきで代行できるようにならないか。(飲食業等の許認可窓口の拡充関係)	【参考意見として承ります】 食品営業許可申請のうち、申請件数が多い継続許可申請につきましては、広野町及び川内村におきましても、出張しての対応を図っております。 新規許可申請につきましては、御意見を踏まえつつ、避難指示区域の見直し、住民の帰還、道路の状況等、今後の推移を見ながら、定期的な窓口開設や職員配置等について引き続き検討してまいります。
122	いわき	相双といわき間のインフラ(道路)整備を早くして欲しい。	【参考意見として承ります】 両地域の施策で、国道6号線やJR常磐線の復旧について記載しており、今後とも強く推進してまいります。 また、常磐道については、国で警戒区域内の施工を迅速に行う旨が表明されております。